

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小森様マンション	階数	地上6F
建設地	京都府長岡京市開田4丁目2番3、3	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	59人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 0.0	評価の実施日	2017年3月8日
敷地面積	1,241㎡	作成者	百合 伸仁
建築面積	720㎡	確認日	2017年3月8日
延床面積	2,698㎡	確認者	百合 伸仁



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 72%
③上記+②以外の 72%
④上記+ 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 多角的な視点から合理的な設計を行うことで、環境負荷を抑制すると同時に良好な居住環境を確保した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 内装仕上F★★★★など、良好な室内環境への配慮。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材を使用。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費量の平成28年省エネ基準への適合。	LR2 資源・マテリアル GL工法の採用等により、躯体と仕上材が容易に分離可能。	LR3 敷地外環境 省エネルギー対策による地球温暖化の防止。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・運送から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される